

# 平和のひろば

題字 ねなしがづら 書

## 住宅地に弾薬庫はいらない!

## 基地なくし住宅と緑を!



練馬駐屯地広報班が発行した5月11日付けの文書によれば、日没後夜7時まで地震災害等に備えヘリコプターによる離着陸訓練を6回実施すると言う通告であった。

電車が空から降ってくるよ  
うだ!?!  
実施当日、練馬平

今年5月16日から2日間練馬駐屯地内で実施された夜間ヘリコプター訓練の目的が「市街地対遊撃訓練」であることが判明した。住民と訓練を監視した練馬平和委員会が防衛庁より入出した「平成18年度第一次飛行隊訓練実施計画」により裏付けられた。来年は中止するであろうね。

## 陸自区役所に町会に 災害訓練と知らせ ゲリラ戦闘?

和委員会は住民とともに駐屯地に要請と監視活動を実施した。ヘリコプターの全長は電車1両分、電柱より高い。重さは6トンだと言う、高性能ガソリン満載



自衛隊弾薬庫正面の電気屋さん頭上すれに大音響で夜間飛行する陸自大型ヘリ。

(OH-6DやUH-1Jなど)による離着陸飛行は夕方5時17分より日没後の7時6分まで行なわれ飛行回数は予定より3回上回る9回実施された。

だ。東京消防庁や民間のパイロットは「都心は日没後モネオンスインなどで明るく夜間飛行訓練は意味がない、鳥嶼や山岳部は利用度はあるが都心部での災害時にはヘリコプターよりはしご車などのほうが効果的、むしろ事故の危険性が多く夜間訓練など消防庁では実施しない」という。

ヘリコプターは陸上自衛隊立川飛行場から飛来した。搭乗員は目測で14階から8階建てのマンションが建ち並ぶ駐屯地南方の住宅街を真下に見て一瞬のうちに進入してくる、老人ホームを右下に見て、高度の関係が一番建物が高くなっている富士街道に隣接する3階建てのラーメン屋さんをめがけ、張り巡らされている電線を通過、眼下は弾薬庫だ。目的地の四方のライトを手がかりに自

衛隊グラウンド上空に達し、その地上すれすれに1分ほど機体を傾け左右に旋回し離陸後急上昇し北方から西に旋回し同じコースで夜間離着陸訓練を繰り返すことになる。

弾薬庫前で営業を続けるラーメン屋さんは「以前、自衛隊はヘリが飛ぶ時は知らせにきたが今はまったくこなくなつた、弾薬庫や電線があるの怖い」と真上の電柱(地上の高さ12〜3メートル)を指差す。爆音直下のため話し声が聞き取れない。

**練馬区「災害」という主目的と違う!**

昨年以来この「災害訓練等」による夜間ヘリ訓練に対する情報開示を求めていたが、今回初めて開示された。

開示された訓練計画を早速、練馬区役所にも届けた。受け取った練馬区は「自衛隊から受け取った文書と違いますね、航空機や人員の損傷まで危険要因に書かれて

**住民を欺くことはお止めなう**

命令書は防衛庁より秘密でもなく開示された。

住民との窓口になる練馬駐屯地広報班は「対遊撃訓練実施することになりました、ご理解とご了承のほど宜しく」とは住民に言えなかつたのでしよう。

住宅密集地での夜間ヘリコプター訓練は危険度が高く無理でしょう。

事故がおきたら取り返しがつかない。

**へり騒音等苦情電話窓口のご案内**

練馬区役所(総務課) 3993-1111

練馬駐屯地(駐屯地広報) 3933-1161

朝霞駐屯地(駐屯地広報) 048-460-1711

# 練馬区 自衛隊に弾薬などの保管管理の状況をたずねる!

本年1月13日、練馬区役所は陸上自衛隊練馬・朝霞両駐屯地広報に対して危険物の保管状況を文書で照会した。



「秘密」安全に管理? 練馬駐屯地弾薬庫手前には核物質セシウム137(ミツウロコマーク)も保管。

これは、1月下旬に行われた「区民と区長のこと」において一人の主婦から「練馬区内にある駐屯地に、弾薬・化学物質等をどのように保管しているか

弾薬12・4トン区内に 練馬駐屯地内の弾薬庫は昭和29年建設され、6棟あり1・4トン。弾薬庫に隣接して

600m以内 練馬駐屯地の弾薬庫の内訳は危険度が最も高い第一群(3棟)以下第

耐震のこともあり調べてほしい、という意見・要望が寄せられた。練馬区市民の心配を理解 1月16日、練馬駐屯地からの電話回答によると「防衛上の見地から回答できない。」という、朝霞駐屯地からはなんの返答も無かった。

核物質セシウム137が740メガベクレル。朝霞駐屯地には4棟で合計爆薬11ト貯蔵していると防衛庁が公表している。通産省によれば弾薬庫の安全基準について「民家との保安距離は周辺環境の変化に常に対応することが義務付けられている」としている。

第2群の白燐(黄燐)は「黄燐火災の際に発生する燃焼ガス(五酸化燐)を吸収すると肺水腫を起こすことがある。また黄燐が身体に触れると激しい火傷を起すので必ず防護具を着用する」と記されている。

練馬区の総務課や環境保全課などに要請をしたところ、「安息日の三連休、朝八時からとはひどいですね、寝てる人もいますよ。」これまで練馬区は自衛隊に様々なかたちで申し入れなどをしている訓練の軽減を図っている。訓練時間は駐屯地

2群、第4群(2棟)がある。防衛庁「火薬類の取り扱いに関する達」という訓令によれば、第1群については大爆発性、爆風と破片を伴う、さらに爆発している場合は60メートル以内には近づいてはならない。

んは「災害などいざとなったら助けにくる自衛官が何故、今まで誠実に平和的な話し合いに応じなかったか理解できない。住宅地の真ん中で迫撃砲や機関砲の射撃音に子どもや老人は我慢をしてきた、住宅地だからなんとか配慮して欲しい」続けて一年前に引越してきた女性Bさんは「隊員が無事にイラクから戻ってきたと言うが二度と行って欲しくない」。

に隣接する小・中学校の授業中でもある。練馬区教育委員会にも期待をしたい。今回、駐屯地内で交渉を可能にしたのは住民が日本国憲法第16条(請願権:何人も平穩に請願する権利を有し、請願したために差別待遇を受けない)をささえ、粘り強く交渉した結果である。

七夕交渉実 射撃演習 軽減 7月7日、練馬駐屯地内面会所にて練馬労連や住民など5名が7月14日から始まる射撃訓練中止など要請をした。駐屯地弾薬庫の隣に住む男性Aさん

練馬区議会でついに審議! イラク撤退を国に求める陳情 自民党~共産党 反対意見なし!

6月15日、イラクに派遣第9次隊の中心である第一師団司令部(練馬区北町)を抱える練馬区議会でようやく議論された。しかし採択には至っていない。なお、市民団体から5本のイラク派遣に関する陳情(約7,000筆)が議会に付託されている。

前回、武藤議員より陸上自衛隊練馬駐屯地よりイラクへ派遣された自衛隊員の状況について質問が出され、練馬区は駐屯地に5月25日、派遣年月日・派遣人数・練馬区民人数・帰国年月日まで一覧表にした照会事項調査を実施した。しかし練馬駐屯地からは「陸幕監部広報以外お知らせすることは出来ない」と電話による対応があった。

練馬駐屯地周辺の首長のイラク派遣関連行事の動向だが、新座・和光両市長は全て欠席。朝霞市長のみ全て出席した。出国行事のみ練馬区長室長が出席した。朝霞や練馬も公費の使用は無かった。隊員の表敬訪問も行われていない。

空包射撃訓練が軽減され、住民はお礼の為、練馬駐屯地を訪問した。

9次隊で帰国した真つ黒く日焼けした青年自衛官は「ヒゲを剃り落とす、ほつとしていた。ほとんど宿営地について外に出なかった。自殺者は気になります。」道路工事の監督をしたが向こうの人は働かない。帰国後早く普通の生活に戻りたい(イラクの文化が理解できない隊員もいるようだ) 帰国後のメンタルヘルス必要だが上司に相談できますか!?? 自衛隊から自衛軍。反対です。日本国土を守るため自衛隊に入隊しました。